

『高速道路を制限時速で走りたく成るガードレール』の提案

私は、『高速道路を制限時速で走りたく成るガードレール』を提案いたします。

最近の車は性能が非常によく、時速120km位で走っても全く余裕で止まったり出来てしまいます。逆に100kmまでというのを120kmまでにして欲しいと切に願っているくらいですが、例えば、小さなお子様を載せていたと想像して下さい。

制限時速で走るにより、ガードレール上に絵柄が浮かび上がるのはどうでしょうか？それが、アンパンマンとかのアニメであったり、童話であったり小さなお子様が興味を示すような物語の方が良いでしょう。

小さなお子様は、それを読みたい余り「パパ、もう少しゆっくり走って！」なんて言葉が出ないでしょうか？

施策できるようなコースも持たないので、可能であるか無いかは、分かりませんが、ろうそくや電球の行灯で、内側には馬が走っているような絵を描き、外側には縦格子の二重仕立てで円筒形の物を目にされたことはないでしょうか？内側の馬が熱気で回ると、あたかも走っているかのごとく見えてしまうのです。これを応用して、ガードレールを作れないものでしょうか？

ガードレールは2重になり、頑丈になり、速度は落とせるし、大事故の危険性は下がります。

問題は、ドライバーに直接ではないため、また、直接では逆によそ見をしてしまうことになってしまうことですが、そのためにも、小さなお子様が特に興味をもつ内容を厳選する必要があると考えます。

道路に溝を付け、音階をタイヤノイズで聞く方法など実験的に何箇所があるようですが、是非このアイデアも採用くださると幸いです。

次に、ドライバー向け案です。

VICS や GPS で他車の位置情報等が分かる時代で、
渋滞情報などに利用されつつありますが、
これらの情報を元に、ガードレールや NAVI に情報を反映させます。

そこで考えたのが、プログラムした速度で特定区間を走行できた場合、
高速（有料）道路利用料金を割り引くというのは、如何でしょうか？
強制的に押さえつけることばかりではなく、
利用料が安くなるということは、ドライバーにとって
めちゃくちゃ有益で、しかも自主的に参加したくなる仕組みだと思います。

方法としては、
単純に制限時速さえ守ればいい訳ではなく、
低速走行車などがいた場合や高速走行車があった場合など、
また、渋滞のメカニズムで最も要因とされている上り坂では
必ず速度は落ちてしまいますが、
これらの情報を集積し、最も安全でスムーズな速度で通過（VICS 設置点？）したら
点数に応じて割引料金が発生するという仕組みです。
できることなら、思惑通り走行できた場合、“無料”だと、効果は絶大です。
ゲーム性を持たせることが、大切です。

つまり、
管理者側でドライバーが出す速度を、
結果的に、コントロールしてしまうということです。

少し飛躍し過ぎているかもしれませんが、
ハイウェイ会員のためのサービスとして、会費をとってもいいでしょうね。
会費以上のメリットを感じさえすれば、
ETC の様に爆発的に広がります。